



つまり、アメリカが全くなくなつた後、沖縄の人がすべて幸福になるのかどうかという、それは私は沖縄に住んでいる人間じゃないです。それから分りませんけれども、米軍がいなくなればすべて片付くというふうにはアメリカの人は考えていませんし、私も、どっちかといつと、中国軍が来るよりアメリカ軍の方がいいんじゃないかといふふうに思つてますが、いやいや、それは正に笑い話みたいなんですけれども国際政治を話している連中は真剣になつて話していただけます。

**森重良(本俣年寄)** じゃ、短く、紙着。

**紙着子書** ちよつとそれは、私はそつかなと思ひますけど、ちよつと島田さんの方にもお聞きしたいので。

島田参考人は沖縄振興計画、七年すつとかかわつていられてると思つてすけど、その七年の到達点をどう見ておられるのか。そして懇談会で指摘された提案の到達点と今後の展望についてどう見ておられるかと。沖縄振興を進める上で、やっぱり基地の重圧からの解放といふのはどうしても必要だと思つてすけど、基地返還が欠かせないと、懇談会、返還後も視野に入れた発展、自立的な発展の支援を目標としてゐるわけですが、沖縄の事件や事故を見て、基地と共存できないんじゃないかといふふうに思つてすけど、その点についてのお考えも含めてお話しいただきたい。

**●考人(島田年寄)** ありがとございませう。

基地の問題については、先ほどいろんな形で触れさせていただきましたけれども、大変な負担をいろんな形で沖縄の県民の方が担つておられるわけですね。今、日高先生のお話にもありましたけれども、これをどういふふうに大き

く変えていくのかといふことについては、本当にたくさんの変数を考えなくてはいけないんで、ちよつと私の、今日責任持つてお話しする分野を超えていると思つてすね。ですから共感を感じていますといふこと以上にちよつと申し上げられないわけですが、

振興の問題ですけど、私自身はこの振興計画といふのかかわつてゐるわけではないんです。特別にこの、例の島田懇です、これは非常にインテンシブにこれにかかわつたのは一年半ぐらいですが、その後数年掛かつて、今年も時々もちらん見に行つていますが、そんなかわり方なんです。ですから、振興計画そのものにかかわつてゐないわけじゃないんで、責任持つた回答はできないんですけど、ただ、多しるんなことをやつた立場から申し上げますと、やはり沖縄の方はこつとつちよつとつちよつとね。魚があつて魚を取りたい、魚をくれるよりは釣りがおもしろいという表現です。これは誠に言い得て妙といふ的確に表している表現で、自分たちが自立して経済を運営していけるという仕掛けをつくつてもらいたい。

ただ、戦後、さつきもろんなことを申し上げましたが、非常に難しい不利な時代を過してきてゐるわけですよ。米軍統治下の時代といふのは基地経済ですから、アメリカから食料を持つてきて楽しく暮らせるという経済だったわけですよ。もちろん県民の人は楽しくはなかつたんですけど、基地を潤沢に回せるような経済で、為替レートは高くなつていましたしね。ですから、輸出産業なんか全然つくれない状態を何十年も過こしちゃつたので、インフラをつくれなかつたんですね。産業インフラを、ですから、自立しようとしてもとても大変です。

ですから、私は、今は時代が変わつて高齢成

熟社会になつてきて、みんな健康で生きたいという願望が世界じゅう物すごく強いですからね。沖縄はそういう意味でいつたらちよつと大変い条件を持つてゐるんで、さつきもちよつと機会をたいて言つてしまつて恐縮なんですけど、ちよつとと努力をするのもつとゐるんな可能性を、この東シナ海のもう玉石のようなところだといふプロデュースはできるんだらうと思つてすね。そんな形で自立することは私は十分可能じゃないかと思つてゐますけど、それは、でも、それなりにゐるんな障害を取り除くよつな仕事とか、必要な資金を提供するよつな仕事があつてもいいと。

一つ金融について申し上げたいんですが、実は今こつとこつとあるんです。あのパブルの時代に沖縄は国場組さんが物すごく頑張つたのがみんなつぶれて、えらい経済に一回なつてゐるわけですね。それで、地方銀行も大変な不良債権を抱えているんです。ところが、その処理はある程度進んだんですけれども、まだ十分、じゃありませんが、今新しいフォロワーの風が吹いてきてゐる。つまり、健康な、観光だ、もつとやろつといふ風が吹いてきてゐる。

さつき遠山先生おつしやいましたけど、アジアの人だつて、沖縄に来て、グアム島よりもすばらしいクルージングができたらやつぱり来る人増えてくると思つてすね。そつとこつとをやるよ、あるいは、すばらしいホテルをもつちよつと、サービス提供しようといふこと、沖縄の金融機関では駄目なんです、今、沖縄の金融機関は地方銀行、あそこに中央銀行が、本土のといふかナショナルバンクがないんですよ。全国レベルのバンクがないので、沖縄の小規模な金融機関が担保を取つてやつてゐるんですけど、その範囲内では金融ができませんよ。

んです。ですから、ナショナルレベルの銀行があそこ担保取つて金融ができれば、今の十倍ぐらいの例えは単位の融資を意味のあるプロジェクトには出せると思ひますけど、本當に見ていて気の毒です。つまり、沖縄は頭から金融で押さえられていますね。

ですから、こつとこつとを、じゃ、間接金融がいいのか、それともファンドレーシング、ファンド組成のような、あるいは投資のようなのがいいのか。沖縄の企業で上場する企業はすく少くないですね。ですから、資本市場をほとんど使つてゐないんですよ。沖縄の企業は、これは沖縄の企業が悪いんじゃないんで、そつとこつと仕組みが、今沖縄が追い込まれてゐるんですよ。ですから、金融特区なんて言つてゐますけど、それは、一部の証券会社や生命保険会社が何とか税制優遇してくれといふので集まつてゐるだけで、沖縄に本當にそんなメリットが出てくるのか、私はよく分りませぬ。ましてや税制、うんと特例をしてしまつと、日本はOECDのアグリーメントから外れることになりまして、そつとこつと優遇はできないんですよ。できないで特区と言つたら、これ余り意味がないんですよ、実を言つて。

そんなことよりも、もつとナショナルバンクが融資が自由にできる形をするとか、あるいは沖縄のフォロワーの風を受けてゐる事業にもつと大規模に投資が行われるよつなインフラをつくるか何かといふことをやることも私は非常に必要だと思ひます。とても気の毒に思つてゐます、今沖縄の状況は。